

図書館だより

長浜北星高等学校
(全日制・定時制)
長浜北星高等養護学校
図書館発行

NO. 8 2020 12月号



12月に入りました。学園祭も間近で色々慌ただしい日々ですが、ちょっとしたあき時間に読書も楽しんで下さいね。

新しく入った本の中から

「この気持ちもいつか忘れる」

住野よる 新潮社

平凡な日々には飽き飽きとして生きる高校生のカヤ。16歳の誕生日を迎えた直後、深夜のバス停で爪と目しか見えない異世界の少女に出会う。2人は互いの世界の不思議なシンクロに気づき…。

「Iは赤い。そして世界は緑と青でできている。文字に色が見える 共感覚の話」

望月菜南子 飛鳥新社

九九と百マス計算は、色で覚えて大得意。あいうえお順で並んだ席順は、廊下側がカラフルで窓側が静か。鎌倉幕府の将軍の名前はみんなピンク色だから大混乱…。共感覚をもつ女子大生が、今まで経験してきたエピソードを綴る。

他にも色々…

* 「がんになった緩和ケア医が語る
「残り2年」の生き方、考え方」

関本剛 宝島社

* 「登山式DE防災習慣 もしも…に慌てないお
役立ちコミックエッセイ」

鈴木みき 講談社

* 「文藝春秋オピニオン
2021年の論点100」

文藝春秋

* 「数学パズル大図鑑」
ニュートンプレス

* 「数学の世界 数と数式編」
ニュートンプレス

リクエスト本、シリーズ本が入りました。

「日米地位協定」

古館春一 集英社

「転生したらスライムだった件」

伏瀬・著 みつばー・イラスト

「扇物語」西尾維新 講談社

「本好きの下剋上 司書になるためには手段を選んでられません 神殿の巫女見習い 2」

香月美夜 TOブックス

冬休み中の図書館

*冬休み中図書館は、閉館します。

*12/9より冬休み前貸出を行いますので、何冊でも1/7の始業式の日まで借りられます。

*古新聞も図書室前にあります。必要な人は自由に持って行って下さい。

この時期の読書におすすめします。

*新しく買った本の中から、ちょっとしたすきま時間にも読めそうな短編集を中心に集めてみました。
活字が苦手な人も本を読むきっかけになると良いと思っています。

「Presents」

角田光代 双葉文庫

一生の間に、様々な場面で贈られる大切なプレゼントにまつわるお話。最初は「名前」・・・読んだ後、ほっこりと優しい気持ちになれる1冊です。

「アンと愛情」

坂木司 光文社

成人式を迎えるアンちゃん。大人になるには、まだ早い気がするけど、それでも時間は進むし、世の中は待ってくれません。おいしいおやつを食べて、前を向いて…。

「青春サプリ-自分がここにいる理由-」ポプラ社

全国でも指折りの強豪で、学校一厳しい部として有名なバスケ部のマネージャーになったトモカ。鬼監督の指導にショックを受けつつ、中核的存在になっていき…。部活をテーマにした、純度100%の青春ショート・ストーリーズ。

「3分で読める！コーヒブレイクに読む喫茶店の物語」 このミステリーがすごい編集部 宝島社文庫
喫茶店にまつわるショートショート・アンソロジー。海堂尊「愚痴喫茶 顛末記」、岡崎琢磨「フレンチプレスといくつかの嘘」、佐藤青南「おみくじ器の予言」など、3分で心揺さぶられる25作品を収録する。

「ポストコロナ期を生きるきみたちへ」内田樹 編 晶文社

内田樹 編 晶文社

コロナ・パンデミックによって世界は変わった。この「歴史的転換点」以後の世界を生きる中高生たちに向けて、5つの世代、20名の識者が「生き延びるための知恵」の数々を伝える。

「1日10分のぜいたく」

あさのあつこ いしいしんじ 小川糸 小池真理子 沢木耕太郎 重松清 高田郁 山内マリコ 双葉文庫
全世界で聴かれているNHK WORLD-JAPANのラジオ番組で、17の言語に翻訳して朗読された作品のなかから、人気作家8名の短編を収録。

「なんのために学ぶのか」

池上彰 SB新書

社会に出てからでもいい。学びの楽しさを知っておけば、その後は一生学び続けることができる。池上彰が、「学びの喜び」と「学びの意義」を語る。



「湖北10校 高校生おすすめ本2020」

*読む本に悩んでいる人は参考にして下さい。

